



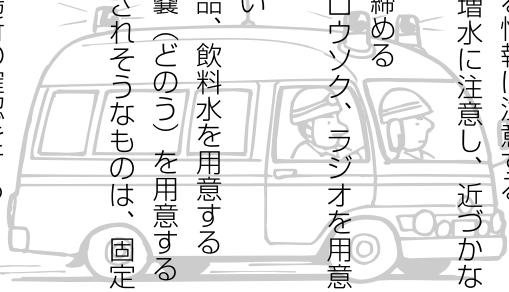
## 風水害 への 備え



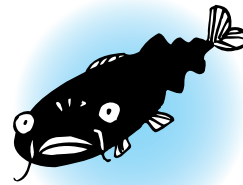
台風や豪雨は、ある程度襲来の時期や規模などを予測することができません。普段から気象情報に十分注意して、風や雨に対する万全の対策を講じておきましょう。

### 台風・水害・豪雨対策の心得十カ条

- ① 台風・大雨に関する情報に注意する
- ② 土砂崩れや河川の増水に注意し、近づかない
- ③ ガスの元栓は必ず締める
- ④ 懐中電灯、電池、口ウソク、ラジオを用意する
- ⑤ 暴風時は外へ出ない
- ⑥ 避難用の持ち出し品、飲料水を用意する
- ⑦ 浸水に備えて、土嚢（どのお）を用意する
- ⑧ 屋外のもので飛ばされそうなものは、固定するか室内へ
- ⑨ 早めに避難所へ
- ⑩ 家庭で避難所や居場所の確認をする



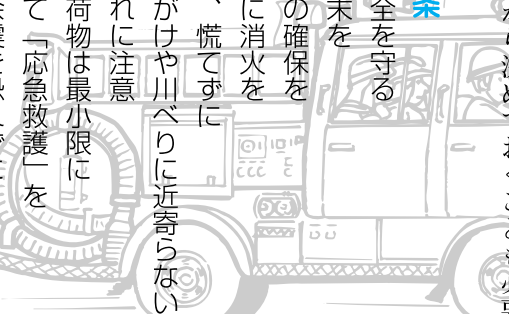
## 地震 への 備え



地震発生時の行動基準を身に付けておかないと、被害を拡大することになります。身を守るためには、適切な判断と冷静な行動が必要です。そのためにも、家族で防災について話し合い、いざというときに冷静に行動できるように心掛けておきましょう。連絡場所や集合場所などを普段から決めておくことも必要です。

### 地震の心得十カ条

- ① まずわが身の安全を守る
- ② すばやく火の始末を
- ③ 戸を開けて出口の確保を
- ④ 火が出たらすぐに消火を
- ⑤ 外へ出るときは、慌てずに
- ⑥ 路地、壁ぎわ、がけや川べりに近寄らない
- ⑦ 山崩れ、がけ崩れに注意
- ⑧ 避難は徒歩で、荷物は最小限に
- ⑨ みんなで協力して「応急救護」を
- ⑩ 正しい情報を！余震を恐れずに！



### 知って得する

No.9

## 暮らしのアドバイス

### ガラス製品の利用 ~夏を涼しく演出する~

暑い夏。でも、目から「涼」を感じることもできます。ガラス製品を利用するのもそのひとつ。透明感があり、見るからに涼しげなガラス製品を利用して、過ごしやすい夏を演出してみませんか。

窓辺やサイドボードにガラスの置物や小瓶を並べたり、写真立てをガラス製に替えたりして、インテリアにガラス素材を取り入れると部屋の雰囲気が変わります。

江戸風鈴や、昔懐かしい球形の金魚鉢など和風のガラス器も涼しさを感じさせてくれます。金魚鉢には、金魚の代わりにピー玉や水中花などを入れてもきれいです。

食事ときは、ガラス器をテーブルの主役にするだけ

で夏のインテリア効果は十分です。ポイントは、異なる素材のものと組み合わせること。そうすることで、ガラスの美しさ、涼しさが引き立ちます。

例えば、カップに漆のコースター、グラスに竹細工のマット、クリスタルガラスのサラダボウルの下に色鮮やかな日本手ぬぐいを敷いたりすることで、和風の涼味が楽しめます。洋風にアレンジするなら、アルミ、コルク、素焼きなどの素材と組み合わせれば洗練された涼しさを演出できます。

美しい細工を施したガラス器は、テーブルウエアに最適ですが、汚れては台無しです。

普通に洗っても表面が曇って見えたり、凸凹部分に汚れが見えたりするようなら、酢水にしばらくつけてから柔らかい布やスポンジで軽くこすり、ぬるま湯で洗い流します。こうすれば、ガラス器の曇りも黄ばみもきれいになります。

洗った後のガラス器は、水気を拭き取らず、布の上に伏せて自然乾燥させてください。